

青 漁 整 号 外
令和 6 年 7 月 22 日

報 道 機 関 各 位

青森県農林水産部水産局
漁 港 漁 場 整 備 課
(公 印 省 略)

漁業体験プログラム担い手育成研修の実施について

県では、「海業」を推進するための取組の一つとして、漁業体験プログラムの担い手となる漁業関係者の実践経験の蓄積、おもてなしスキルの向上及び漁業体験観光推進に対する意識醸成を図ることを目的として、下記のとおり漁業体験プログラム担い手育成研修を開催することとしましたので、取材してくださるようお願いします。

記

- 1 開催日時 令和6年7月27日（土）14時00分から7月28日（日）10時00分
- 2 開催場所 十三漁港及びその周辺（五所川原市十三）
- 3 内 容 別紙のとおり

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	農林水産部水産局漁港漁場整備課 企画・振興グループ GM 棟方 康仁
電話番号	直通：017-734-9615 内線：4685
報道監	農林水産部 次長 及川 正顕（内線：4966）

(別紙)

- 1 開催日時 令和6年7月27日(土)14時00分から7月28日(日)10時00分
- 2 開催場所 十三漁港及びその周辺(五所川原市十三)
- 3 研修対象 十三漁業協同組合及び漁業者

4 研修会内容

本研修は、県が作成した「漁港や藻場を活用した漁業体験プログラムづくりの手引き」に基づき、五所川原市や十三漁業協同組合が運営組織を立ち上げ、漁業関係者が企画した漁業体験プログラムを、担い手育成研修会として実践するものです。

モニターツアーには、一般参加者18名が参加します。

(1) 7月27日(土)(1日目) 14:00~18:15

体験プログラム	内容
① ジョレンを使用したしじみ漁体験 (14:00~15:00)	・十三湖内で、漁具(ジョレン)を使用して、シジミ貝を採取することで普段、漁業者が実際に行っている漁業を体験する。
② 漁港内でのしじみ料理教室 (15:30~16:00)	・十三湖で採取したシジミ貝を使った料理教室を十三漁港内荷さばき所で実施する。
③ 漁港内でのバーベキューとライブ (16:00~18:15)	・十三漁港内荷さばき所で、地元で漁獲された水産物及び、特産品を活用したバーベキューを実施する。

(2) 7月28日(日)(2日目) 8:30~10:00

体験プログラム	内容
① 漁港内でのカヌー・サップ体験 (8:30~10:00)	・十三漁港内で、カヌー及びサップのアクティビティ体験を実施する。

※1 悪天候の場合は、屋内でできるイベントに変更予定です。

- 5 関係機関 青森県農林水産部水産局漁港漁場整備課
五所川原市市浦総合支所水産室、十三漁業協同組合

2024年7月27日(土)・28日(日)

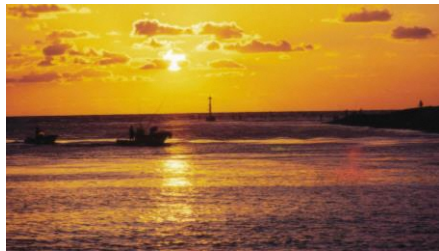
漁業体験モニターツアー in 十三



ジョレンを使ったしじみ漁体験



漁港内SUP体験



十三湖からの夕陽



漁港内カヌー体験



しじみ料理教室

参加条件 青森県に居住し、ツアーに関するアンケート及び写真(動画)撮影にご協力いただける方

実施期間 2024/7/27(土)~7/28(日) 1泊2日

募集人数 15名(最大5組まで)
1組2名以上5名以内にてお申込みください

参加費用 無料(宿泊・夕食・朝食・昼食各1回含む)

宿泊場所 十三湖中の島ブリッジパークキャンプ場
中の島コテージ(1組で1棟利用)

申込方法 別紙記載(裏面)をご確認ください

主催 青森県

問合せ先 あおもり創生パートナーズ株式会社
担当: 小泉、船水
〒030-0821 青森県青森市勝田1-3-1
TEL: 017-774-1390

時間 7/27(土) ツアー1日目のスケジュール

12:00	各自昼食後、JR青森駅出発
12:50	JR五所川原駅出発
13:40	中の島ブリッジパークケビンハウス到着
14:00	ジョレンを使ったしじみ漁体験
15:30	漁港内でのしじみ料理教室
16:00	漁港内でのバーベキューとスペシャルライブ
18:30	中の島ブリッジパークケビンハウスにて宿泊

時間 7/28(日) ツアー2日目のスケジュール

07:15	民宿和歌山に移動して朝食
08:30	漁港内でのカヌー・SUP体験
11:40	道の駅十三湖高原にて昼食
13:30	JR五所川原駅
14:20	JR青森駅にて解散

※本モニターツアーは、漁業体験プログラムの担い手となる漁業関係者の各種体験受入れ実践経験の蓄積やおもてなしスキルの向上及び漁業体験観光推進に対する意識醸成を図ることを目的に開催するものです。

漁業体験モニターツアー in 十三 参加申込書

代表者 お名前	(フリガナ)	該当性別に ○を付けて ください 男性 ・ 女性 ・ その他	生年 月日	西暦 年 月 日 (歳)	
			交通 手段	ご希望の参加方法を○で囲んでください 専用バス利用 ・ 自家用車 青森駅発 ・ 五所川原駅発	
ご住所	〒		TEL		
			MAIL		
同行者 お名前	(フリガナ)	該当性別に ○を付けて ください 男性 ・ 女性 ・ その他	同行者 お名前	(フリガナ)	該当性別に ○を付けて ください 男性 ・ 女性 ・ その他
				(歳)	
同行者 お名前	(フリガナ)	該当性別に ○を付けて ください 男性 ・ 女性 ・ その他	同行者 お名前	(フリガナ)	該当性別に ○を付けて ください 男性 ・ 女性 ・ その他
				(歳)	
その他	アレルギーなど、ご配慮が必要なことがございましたら、ご記入ください。				

以下の注意事項をご確認のうえ、申込期限【2024年7月10日(水)】

までに右のQRコードもしくはメール、FAXでお申込みください。

申込者多数の場合は、家族構成、年齢構成を考慮したうえで、

選考することとしておりますので、予めご了承ください。



Webでも応募できます！

宛先:あおもり創生パートナーズ株式会社 / 担当:小泉、船水

TEL:017-774-1390

FAX:017-735-3417

Mail:toshio-koizumi@acp-procrea.jp

<注意事項>

- ・モニターツアーの趣旨をふまえて、なるべく漁業体験メニューに参加できる方の応募をお願いします。
- ・漁業体験プログラムは十三漁港周辺で実施するものです。
波の影響を受けにくい雨天決行の予定ですが、大幅に天候が崩れた場合には中止することもあり得ます。
- ・2日間通じて当日は動きやすく、汚れや、濡れたりしても問題ない服装でご参加ください。
また、夏季の屋外での体験があるため、熱中症対策等の万全な準備をお願いします。
- ・JR青森駅(JR五所川原駅も経由)からバスを用意しますが、中の島ブリッジパークケビンハウス前に自家用車で直接集合解散していただくことも可能です。
- ・アレルギー等のご配慮が必要な方は、必ず事前にお申し出ください。
- ・ご記入いただいたお客様の個人情報は、本モニターツアーのみに使用いたします。
- ・モニターツアー実施中にアンケートにご協力いただきます。またツアー中は写真(動画)の撮影にご協力いただきます。
- ・ツアー当日に個人情報の提供及び写真(動画)撮影に関する許諾書にご署名をいただきますので予めご了承ください。

<選考結果>

- ・選考結果については、遅くとも2024年7月12日(金)までにご連絡いたします。

一緒に挑戦しませんか！ 漁村のにぎわいづくり！

漁港や藻場を活用した 漁業体験プログラムづくりの手引き



詳しい内容は「漁港や藻場を活用した
漁業体験プログラムづくりの手引き(冊子)」をご覧ください

お問い合わせ

「漁業体験プログラム」で 漁村のにぎわいを創ろう!

第1章 漁業体験プログラム づくりの準備をしよう

漁業体験プログラムを作るためには、漁業関係者だけではなく宿泊施設、飲食店などの地域関係者の協力が不可欠です。まずは中心となる運営組織を立ち上げ、プログラムづくりに向けた活動計画や事業計画を作りましょう!

STEP 01 仲間を集めよう

STEP 02 事業計画を立てよう



第2章 漁業体験プログラムを つくろう

運営組織や事業計画ができたら、漁港や藻場、養殖施設など漁村地域ならではの魅力的な地域資源を活かした体験プログラムを作ってみましょう!

STEP 01 プログラムを作ってみよう

STEP 02 モニターツアーをやってみよう

STEP 03 プログラムを商品化しよう



第5章 心のこもった 「おもてなし」をしよう

どんなに素晴らしいプログラムでも、「おもてなし」の心がなければお客さまには喜んでもらえません。心のこもった最高の「おもてなし」でお客さまに漁業体験プログラムを楽しんでもらいましょ!

STEP 01 「おもてなし」を知ろう

STEP 02 「おもてなし」を実践しよう

本編では
図入りで
説明

☐ 目元から笑顔が作られていますか?

☐ 唇の両端(口角)は上がっていますか?

☐ まごころのこもった温かみのある声が出ていますか?

プラスイメージ

- 相手の目をみて話す
- 笑顔がある
- 背筋が伸びている
- 気持ちは余裕がある
- 状況に応じたお辞儀ができる(会釈、敬礼等)

マイナスイメージ

- 視線を逸らしている
- ボケットに手を入れている
- 背筋が曲がっている
- 視点が定まっていない
- 体が揺れている

第3章 しっかりと安全管理に取り組みよう

漁業体験には、海での事故や飲食時の食中毒など様々なリスクがあります。プログラムの実践では安全・安心が何よりも大事。万全の安全管理に努めましょう!

STEP 01 海での事故やリスクに備えよう

STEP 02 食の衛生管理を徹底しよう

第4章 漁業体験プログラムを実践しよう

体験プログラムが出来上がったなら、いよいよプログラムの実践です。手引きにある4つのモデルプログラムも参考にしながら、みんなでやってみましょう!



モデル①藻場活用編

藻場でのウニ採り・ウニ剥き・ウニ井づくり

モデル②養殖生け簀簞活用編

養殖生け簀での簀簞作り・魚さばき・刺身舟盛りづくり



モデル③漁港活用編

漁港内クルージング・岸壁釣り・海鮮BBQ



モデル④代替プログラム編

漁港内施設探検・魚さばき・海鮮井づくり